

賛美されるべき神様 (士師 5:1-3)

聖書の預言どおり、世の中は乱れ暗い方向に向かっている終末の時代です。神様はその世の中から、私たちを現場灯台として召してくださいました。この世の流れに流されることなく、まどわされずに勝利をして世を治めて行く秘密の中の秘密が「賛美」です。世の中にいるとしても、世とはちがって、私たちはまことの神様をほめたたえることができます。どんなに世の中が乱れ、暗くなっても、神様の聖なる計画が全うされることをほめたたえる賛美ができるなら、神様の世界にのめり込むようになり、この世を生かす力、光を放つ祝福を受けたようになります。讚美歌は、神様をほめたたえる信仰の告白に曲とリズムをつけたもので、賛美と同じではありません。音がなくても、賛美することはできま

す。賛美をささげる恵みによって、この世を勝ち取る勝利者になることができます。神様は、神様の栄光をほめたたえるため



にいのちを与えてくださり、私たちに賛美を回復してくださいました。きょうの聖書箇所は、デボラとバラクの賛美です。彼らは勝利したゆえに喜んだわけではありません。士師記には、神様がどのような方なのか記されています。神様は賛美されるべきお方であり、賛美を受けるに値する唯一のお方だということが示されています。神様がどのようなお方なのかを知り、賛美せざるをえない理由を知って、神様をほめたたえましょう。

神様を賛美せざるを得ない理由は、**神様が**あり得ない恵みの神様だからです。士師記の時代のイスラエルは、神様の目に悪を繰り返していたので、罰せられても文句を言うことができない者でした。しかし、そのイスラエルに神様は勝利を与えてくださいました。このような神様の恵みは、あり得ないことだと分かるなら、賛美するしかありません。このような恵みは、どこに行っても見つけることができない、神様しかありません。その事実を、イスラエルの勝利を通して知ることが

できるので、ほめたたえるしかないのです。地獄に行つて当然の者に、世のすべての法則を超越した恵みによって勝利に導いてくださいます。世の中の法則は、代表的なものとして因果応報があります。その法則では、絶対に理解できない、ありえない神様の恵みです。これは、世の人々にはとうてい受け入れることはできず、怒りさえ覚えることです。ユダヤ人やパリサイ人たちは、とうていこの恵みを受け入れることができず、イエス様を十字架で殺してしまいました。そのように世の法則にこだわっているなら、賛美することはできません。神様の恵みは、すべての法則を超えるありえない恵みなのです。

また、私たちの頭では**理解できない愛の神様**であるゆえに、ほめたたえるしかありません。神様の愛は理解や理屈にあてはまらない、はるかに超えた無条件の愛であり、一方的な愛です。愛されるべき条件、根拠はまったくないのですが、神様は愛を注いでくださいます。デボラはそれを賛美しました。ダビデ、パウロも賛美は同じです。

乱れている世の中で、賛美を保っているなら、世の流れに流されることはありません。たましいと思ひ、心を天上に持って行くのが賛美です。理論や主張、イデオロギーは10年も経てば変わります。福音はそのようなものではなく、いのちです。ありえない恵み、理解を超えた愛の神様であることを明確に示されたのが、キリストの十字架です。**キリストの父なる神様**はほめたたえられるべきお方です。私たちがまだ罪人であったときに、キリストが私たちのために死んでくださいました(ローマ 5:8)。それゆえ、パウロは刑務所の中でも、天にあるすべての霊的祝福が与えられていることを賛美し、父なる神様がほめたたえられるようにと告白しました(エペソ 1:3)。神様はいつでも、十分にほめたたえることができるお方です。その神様が私たちのことを先に愛してくださったと(1ヨハネ

4:11)信じられるだけでも、賛美できるのです。キリスト・イエスを通して罪人にいのちを与え、ただ信じる信仰によって神様がまったく新しい者に造り変えてくださいました。**すべてが新しくなったことを賛美**するのです。なにも要求されることなく、ただ信じるだけで、根本から、根っこから、完全に、永遠に造り変えられたので、ほめたたえるしかありません。過去、現在がどうでも、すべて新しくされました。このような信仰を持って賛美をささげるとき、悪霊が去って行きます。どんな人間でも、キリストを信じて受け入れるなら、新しく造り変えられ、新しいいのちを持っています(1ヨハネ 5:11-13)。聖霊が宿る神の神殿となり、天にある霊的祝福をすべて与えられ、聖なる国民、神の所有とされたまったく新しい者です。衣食住にのみ捕らわれるしかない身分だった者が、キリストのからだなる教会として、キリストのすべてのいのち、力がこの暗やみの中に流れ出るような身分に造り変えられました。そして、父がイエスを送られたのと同じ目的で、世に遣わされています(ヨハネ 17:18)。聖霊が宿ると、自動的

にそのような存在となったのです。ありえない神様の恵み、理解を超えた神様の愛、キリストの父なる神様であるゆえ、そして、信じる信仰によってまったく新しい者に造り変えられたゆえに、賛美せざるを得ないのです。本当に賛美をするなら、世のすべての法則から解放され、天の御国の法則に捕らわれるようになります。これが自由です。父なる神様に集中して、神様の世界にのめり込んでいくようになります。それが賛美です。賛美をするなら、すべての境界を超え、過去やいまの自分から解放されます。賛美をささげて、この世から神様の世界に移動しましょう。答えが与えられたら、賛美しましょう。そして、いつも、どこでもずっと賛美をしましょう。悪霊を追い出し、暗やみを砕き、神様の勝利を体験していくようになるでしょう。日頃、悪口、不平不満に慣れているので、わざと賛美に没頭する時間を持ちましょう。神様の勝利の主人公として味わうようなことを祈ります。

(http://jremnant.com に音声と動画が出ています)

士師記 5:1-3 賛美されるべき神様
なるほど/ 乱れている世の中で勝利をし、その世を生かす信者の最高特権は、神を賛美することである。すなわち、神様は賛美を受けるにふさわしい方で、神様だけが賛美の対象であることを知り賛美するとき、現場灯台として勝利の主人公に立つようになる。
ならば/ いつでもどんな状況でも賛美を優先して、この世から神様の世界に入り、真の喜びと感謝を歌いつつ、世を生かす神様の力を得よう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年8月25日)
1部礼拝：隠された宝 (マタ 13:44)
福音の中で他の人が知らない宝畑を発見して、すでに持って、世の中を生かすようにしていただき感謝します。7人のレムナントのように福音の中でこの時代のエジプト、バビロン、ローマを生かすものすごい宝畑を味わいますように。福音の中で神様がくださった身分と権威を持って、三位一体神様のみわざを味わいながら、世界福音化しますように。福音の中で未来についての宝畑を今見て、地の果てまで福音を伝えて、癒して、弟子を立てますように。この契約を握って天国のカギをいつでも使いますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。
2部礼拝：すばらしい直うち真珠 (マタ 13:45-46)
目に見えないことを握って、サタンがひれ伏す大きな契約の人になるようにしていただき感謝します。どんなことでも解決できない暗やみの事件を解決する福音が、計算できない神様の恵みであることを知って味わいますように。伝道と宣教の祝福はどんなことでも解決できないことを解決する解決策であることを知って、キリストの奥義を伝えますように。私の小さな献身を通して、だれも予想できない未来のことを成し遂げて、237多民族、癒し、サミットを立てることにすべてをつなげますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。